

一般社団法人 名古屋林業土木協会会員の C N、G X、生物多様性、D X などの取組事例

実施主体	大山土木 株式会社			
区分	C N (カーボンニュートラル) 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させること。 2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする政府目標。	G X (グリーン転換) 化石エネルギーを中心とした現在の産業構造・社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換すること。脱炭素社会を構築しようとする取り組み	N P (ネイチャーポジティブ、生物多様性) 生物多様性の損失を食い止め、反転・回復軌道に乗せること。COP15(2022年)において2030年までに実現することとして設定された国際目標	D X (デジタル転換) データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革し、業務や、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立させること。
取組名称	デジタル技術の推進・導入による会社の競争力向上			
具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICTの活用 (施工・測量) ・ 情報共有システムや電子黒板活用 ・ リモート会議の実施 ・ テレワーク (タブレット) ・ オンライン講習 ・ 人員配置や工程調整 (クラウド) 			
経費	不確定			
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業の安全と効率化 ・ 労働時間の短縮と紙の削減 ・ 移動時間の削減 ・ 情報伝達の迅速化 ※ SDGs 9に該当			
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ コストアップ 			
備考欄				